

高等学校1年 国語総合科 学習指導案

「著作物等の権利を守ることの大切さを知る」

日 時：平成 年 月 日（ ）

場 所：

授業者： 教諭 小濱 久典

1 単元名（主題名・題材名）

クラス名言集を作ろう（「プレゼンテーションをしよう」の応用による）

2 単元（主題・題材）について

(1) ねらいについて

本教材は教科書教材「プレゼンテーションをしよう」を応用し、自分のこれまでに見聞きした「心に残った名言」をクラスの生徒に向けてプレゼンテーションし、その名言を一つにまとめてクラスのオリジナル名言集を作成するものである。本校園芸科学科では2年次に国語総合、3年次には国語表現を履修し、自分の意見や調査に基づいた表現活動を行っていく。今回の学習においては、自分の心に残った名言、台詞や文章等を他者に的確に伝えるとともに、人の意見にしっかりと耳を傾け、自分の考えを深める態度を身につけさせたい。

(2) 児童（生徒）の実態について

本クラスは男子〇〇人、女子〇〇人の計〇〇人で構成されている。授業に対して真剣な姿勢で取り組むことができることのできる生徒が多い。表現活動に対しても積極的に取り組むことができるが人前で発表をすることに関しては苦手意識を持っている生徒もいる。

(3) 資料について

今回は教科書の他にワークシート及びプレゼンテーションソフトを利用した学習の要点をまとめたものを資料として提示する。生徒の学習への理解がスムーズに進むように、教科書の内容とワークシート・プレゼンテーションソフトによる資料の提示が相互に関連するようにし、学習課題へのアプローチをはかる。

(4) 指導にあたって

指導にあたっては以下のことに力点をおく。

- 授業のねらいを明らかにし、生徒が目的を持って学習活動に取り組むことができるようにする。
- プレゼンテーションとは何かということを一斉授業の中でしっかりと確認させ、表現活動が円滑に進むようにする。
- 自分の心に残った台詞、文章等を正確に伝えるとともに、人の意見にしっかりと耳を傾け、自分の意見を深める態度を身につけさせる。

(5) 情報モラル教育の観点から

- ア 本時は、「モデルカリキュラム」の目標「2. 法の理解と遵守」、項目「c 2-1: 情報の発信や情報をやりとりする場合のルール・マナーを知り、守る」との関連を重視して展開する。
- イ 著作物等の権利を守り、情報の信頼性を明らかにするため、引用したものに関しては必ず出典を明らかにさせる。

(6) 人権教育上の留意点

- ア 自分の考えを、自信を持って発表できるような支持的風土づくりに努める。
- イ 他の人の意見も尊重しながら、ともに学習しようとする態度を育てる。

3 単元（主題・題材）の観点別目標

関心・意欲・態度	<ul style="list-style-type: none">・学習内容の見通しを立てることができる。・学習課題に対して主体的に取り組むことができる。・学んだことを今後の生活に役立てようとする積極的姿勢が見られる。
知識・理解	<ul style="list-style-type: none">・学習内容を正確に理解することができる。
読む能力	<ul style="list-style-type: none">・教科書を正確に読み、要点を押さえることができる。
書く能力	<ul style="list-style-type: none">・学習内容の要点をワークシートにまとめることができる。・自分の発表する内容を的確にまとめて表現することができる。
話す、聞く能力	<ul style="list-style-type: none">・自分の意見を周囲にわかりやすく正確に伝えることができる。・他者の発表にしっかりと耳を傾け、内容を理解することができる。

4 指導・評価の計画

次	時	学習活動	指導上の留意点	評価項目（方法）
1	1 (本時)	プレゼンテーションの方法	プレゼンテーションについてまとめ、その方法について理解する。	【知識・理解】 プレゼンテーションの方法と留意点について理解できた。
2	2	プレゼンテーションの作成	自分の伝えたい内容をもとに、プレゼンテーション原稿を作成する。	【書くこと】 プレゼンテーション原稿を作成できた。
3	2	発表、まとめ	作成した原稿をもとに発表を行い、相互評価する。	【話すこと・聞くこと】 自分の意見を的確に他者に伝え、人の発表を正確に聞くことができる。

5 本時の学習 (1 / 5 時間)

(1) 目標

プレゼンテーションについてまとめ、その留意点について理解する。

(2) 展開

過程	学習活動と主な発問	児童（生徒）の反応	指導上の留意点と評価	備考
導入 5分	① 学習内容の見通しをたてる。	・本単元での学習内容を確認する。	・見通しを持って学習に取り組むことができるよう何をするのかをはっきりさせる。 【関心・意欲・態度】	プレゼンテーションソフト
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 学習課題 自分の心に残った名言について、クラスでプレゼンテーションをしよう。 </div>			プロジェクト
展開 42分	② プレゼンテーションとは何かまとめる。	・教科書181ページから184ページを通読しながら、プレゼンテーションについてまとめる。	・教科書の記述をもとに、プレゼンテーションのポイントをワークシートにまとめさせる。【読む能力】	ワークシート
	③ プレゼンテーションをする上での留意点について考える。	・プレゼンテーションソフトを用いて発表までの手順を確認し、例を参考に発表時の留意点について考える。	・プレゼンテーションの目的と留意点について理解させた上で作業に取りかかることができるようにする。 【知識・理解】	
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> このプレゼンテーションに足りないものは何か </div>			
		・スクリーンに表示されている情報や説明の内容から不十分である点は何か考える。	・情報の信頼性や著作権等の権利を守ることの重要性について気づかせる。(情報モラル教育上の留意点)	
			<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 評価 プレゼンテーションの方法と留意点を理解できたか。 </div>	
終末 3分	④ プレゼンテーションの構想を練る	・どのような言葉を紹介するか構想を練る。	・留意点、発表の流れを踏まえて構想を練らせる。【関心・意欲・態度】	
	⑤ 次時の予告	・次時の予告をする。		